

SAICMおよび以後の産業界の取り組みと展望

2015年9月3日
環境省第8回政策対話



一般社団法人 日本化学工業協会
常務理事 庄野 文章



TOKYO 2015

Copy right ICCA/JCIA 2015/9



1

本日の内容

1. 産業界活動の紹介

国際的な化学品管理の潮流のなかで

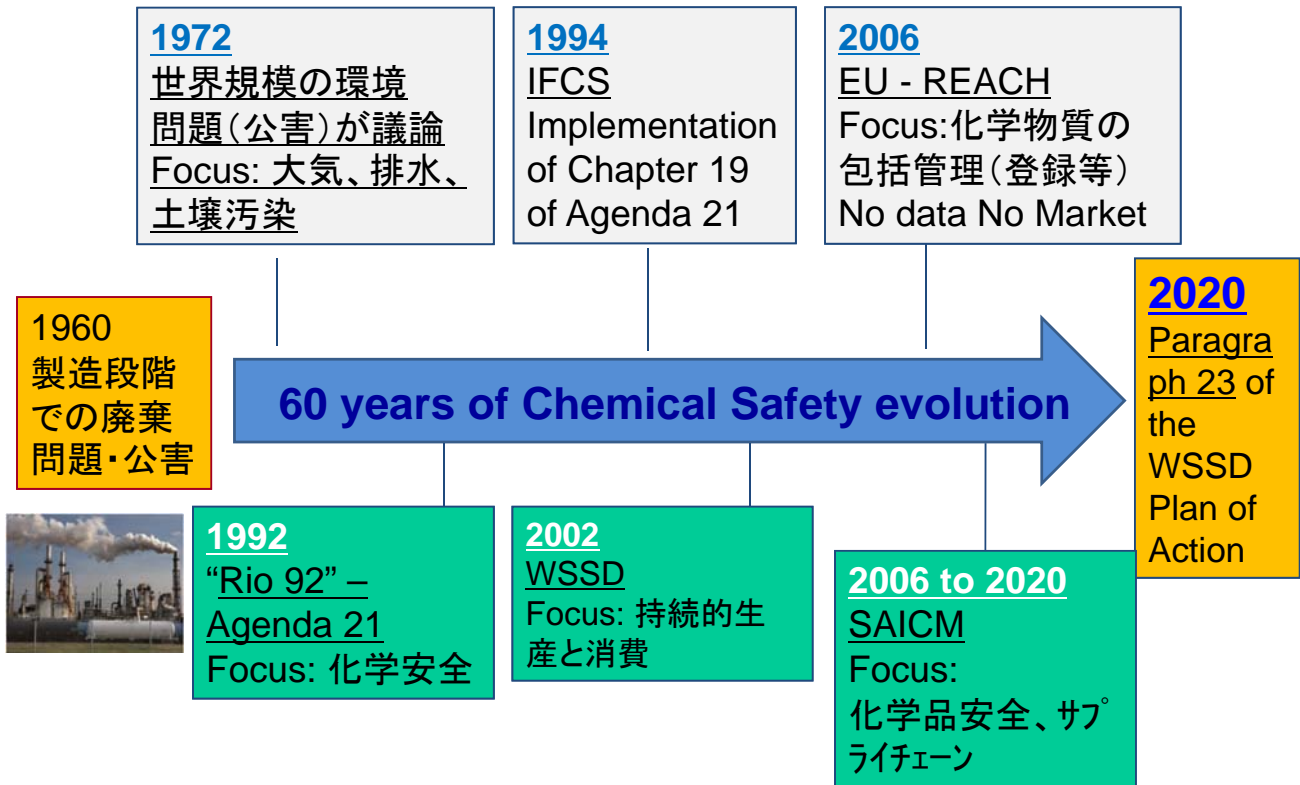
- ICCAとは
- ICCAのこれまでの取り組み
- ICCM4にむけて サイドイベント等

2. SAICM 2020達成とその後

3. まとめ



化学品管理の世界的潮流： Long time debating...



TOKYO 2015

Copy right ICCA/JCIA 2015/9

3



国際的な化学品管理の流れとICCAの対応



1992年 国連環境開発会議アジェンダ 21(リオ宣言)

2002年 持続可能な開発に関する国際サミット(WSSD)

・世界的目標: 化学品による悪影響を2020年までに最小化

・SAICM(国際的な化学物質管理に関する戦略的アプローチ)の策定

2006年 国際化学物質管理会議(ICCM) ・SAICMの採択

⇒2006年 **国際化学工業会協議会(ICCA)がRC世界憲章を制定**
GPSを推進することをコミット

- 化学物質が、**ライフサイクル**全体を通して、安全に使われるようにする
- 化学物質の安全性は、科学的根拠に基づく**リスク評価**で確認する
- 安全性データ及びリスク評価データは、極力**公開**する

化学品管理 法規制



欧州: REACH

日本: 改正化審法
安衛法改正

中,韓,台等: 規制強化

米国: TSCA改正検討

化学産業界自主活動



GPS(Global Product Strategy)

Product Stewardship
に基づいた化学物質管理



Copy right ICCA/JCIA 2015/9

産業界横断活動

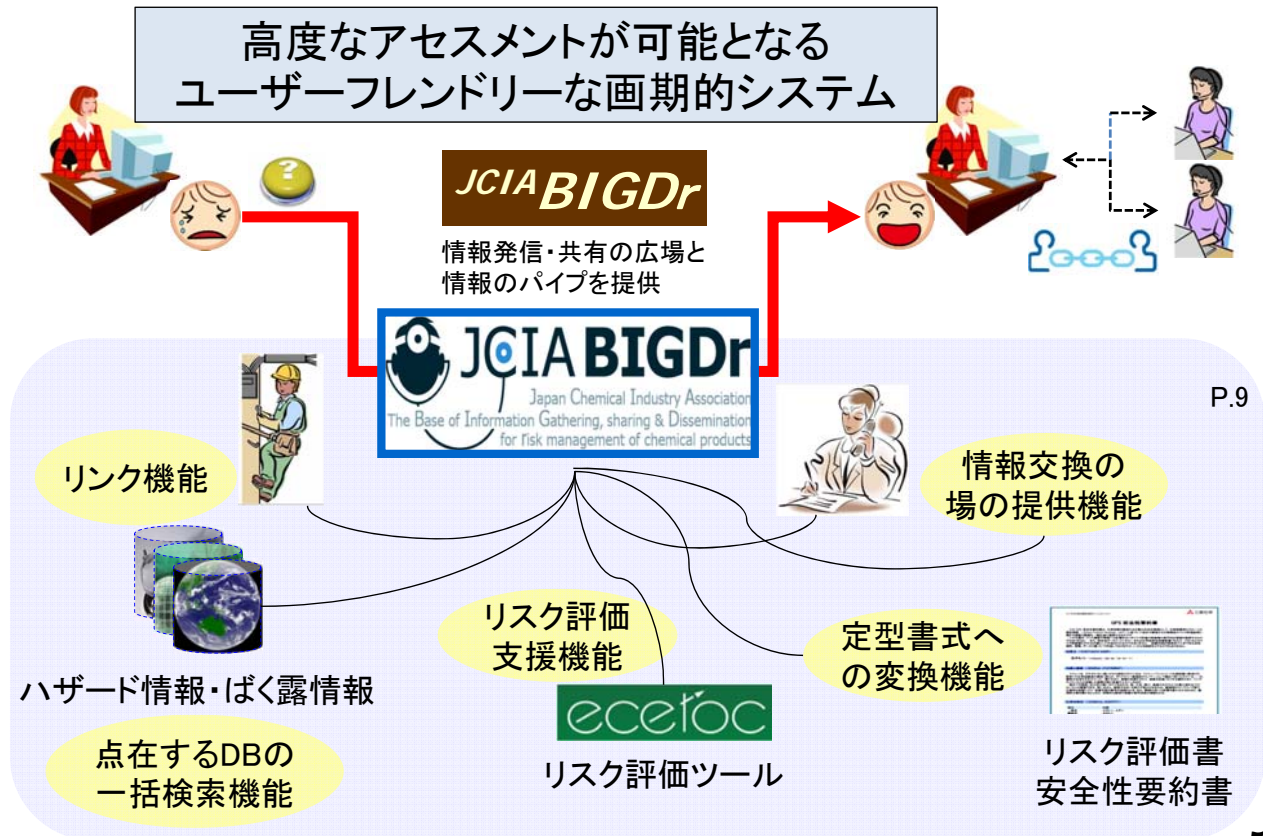


中長期ビジョン策定

2015年~リスク管理に
必要な情報伝達の導入

SCRUM

4



ICCA (International Council of Chemical Associations: (国際化学工業協会協議会)

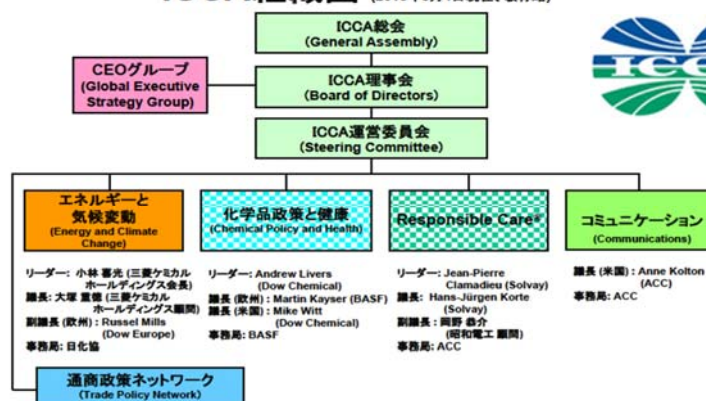
- 世界各国の化学工業協会間の意見交換・諸方針の調整、および国連・WTO、OECDおよびUNEP (国連環境計画) 等の国際機関に対して化学産業として国際的に共通した見解を表明することを目的として設立 (1989年6月)
- 現在、欧州化学工業連盟:Cefic, 米国化学工業協会:ACC、および日本化学工業協会が中心となって諸般の課題に化学産業の国際的な組織として活動 (48カ国 化学工業協会中心に組織, 中国、インドはオブザーバー)
- 現在、エネルギーと気候変動、化学品政策と健康、レスポンシブル・ケア、広報 (Advocacy) について、それぞれのグループ (LG) が中心となって具体的に活動。



SAICM達成に向けてこれまでのICCAの主な取り組み

- ▶ UNEPとの連携 (MoU 締結): アフリカ支援 (Legacy) 人材、資金の提供
化学物質の港湾施設における指導
開発途上国における放置農薬等“負の遺産”の
処理、技術指導
- ▶ Responsible Care憲章: 各国化学工業会社 Top(CEO)のプロダクトス
チュワードシップの実行をコミット
世界で316社(8/28現在) GPS/JIPSの普及
- ▶ 化学兵器禁止条約への加盟、水銀使用量の低減等

ICCA組織図 (2015年8月4日現在、敬称略)



2 Copy right ICCA/JCIA 2015/9

ICCM4におけるICCAの取り組み(予定)

The SAICM journey to 2020 and beyond

“SAICMにむけての現状の状況確認と今後に向けて”(パネル討論)

日時: October 1, 6.30-8.30 pm

- ▶ Moderator Rolph Payet 氏(Executive Secretary of the Basel, Rotterdam and Stockholm Conventions)
- ▶ Introductory Statement Jean Pierre Clamadieu (Solvay CEO) Panelists:
- ▶ 参加者 Jean Pierre Clamadieu (Solvay), Fleadwood Grobler (Sasol), Mr. Mutlaq Al-Morieshed (Tasnee), You Xiaping (Huaфон) +

“Supply Chain Partnerships for Sustainable Chemicals Management”
“化学業界のサプライチェーンからの化学品管理の取り組み紹介”

日時: September 29, 1:15-2:45 PM

Electronics supply chain:

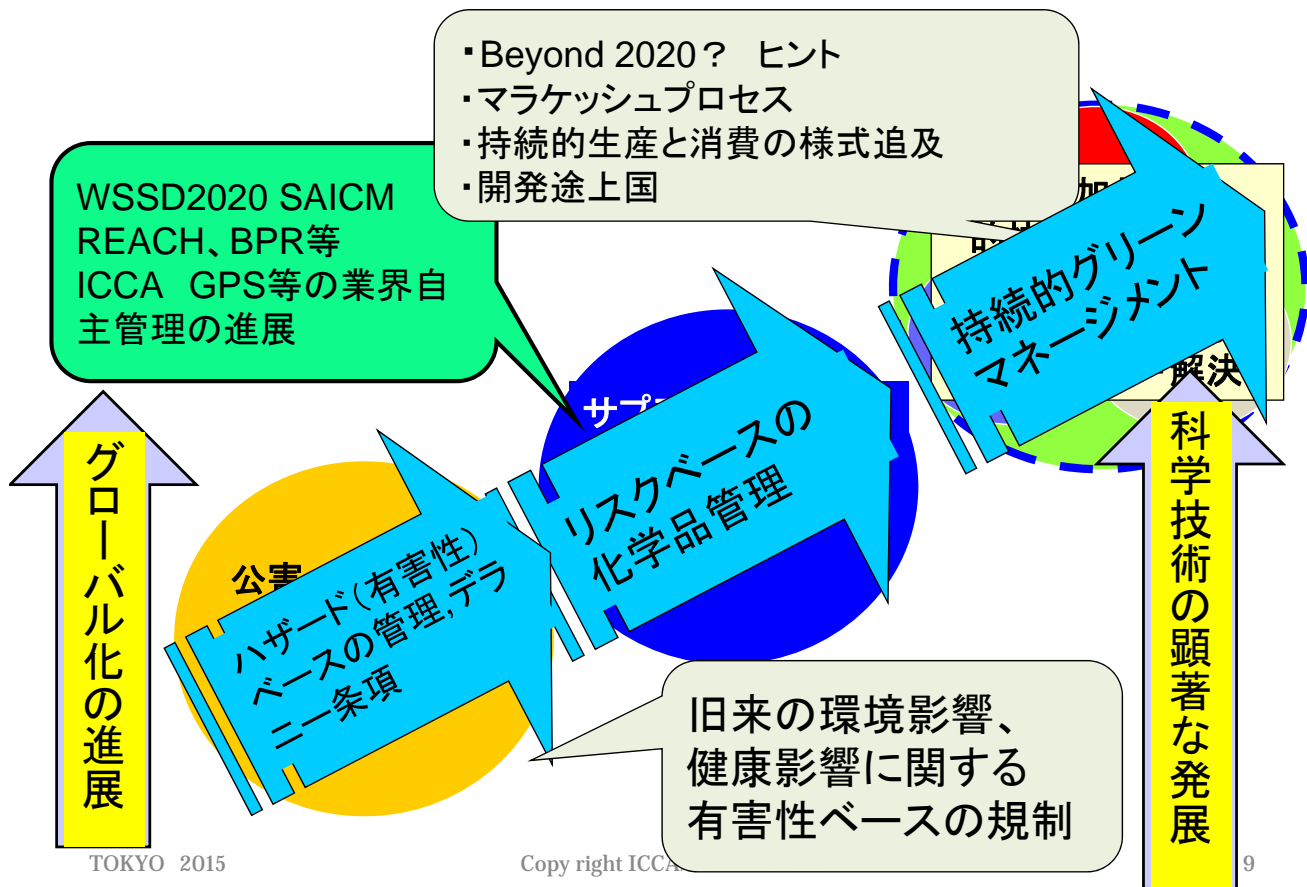
Canon 古田清人氏 Chem SHERPA等
Apparel Ronald Bock氏(欧州繊維業会)等



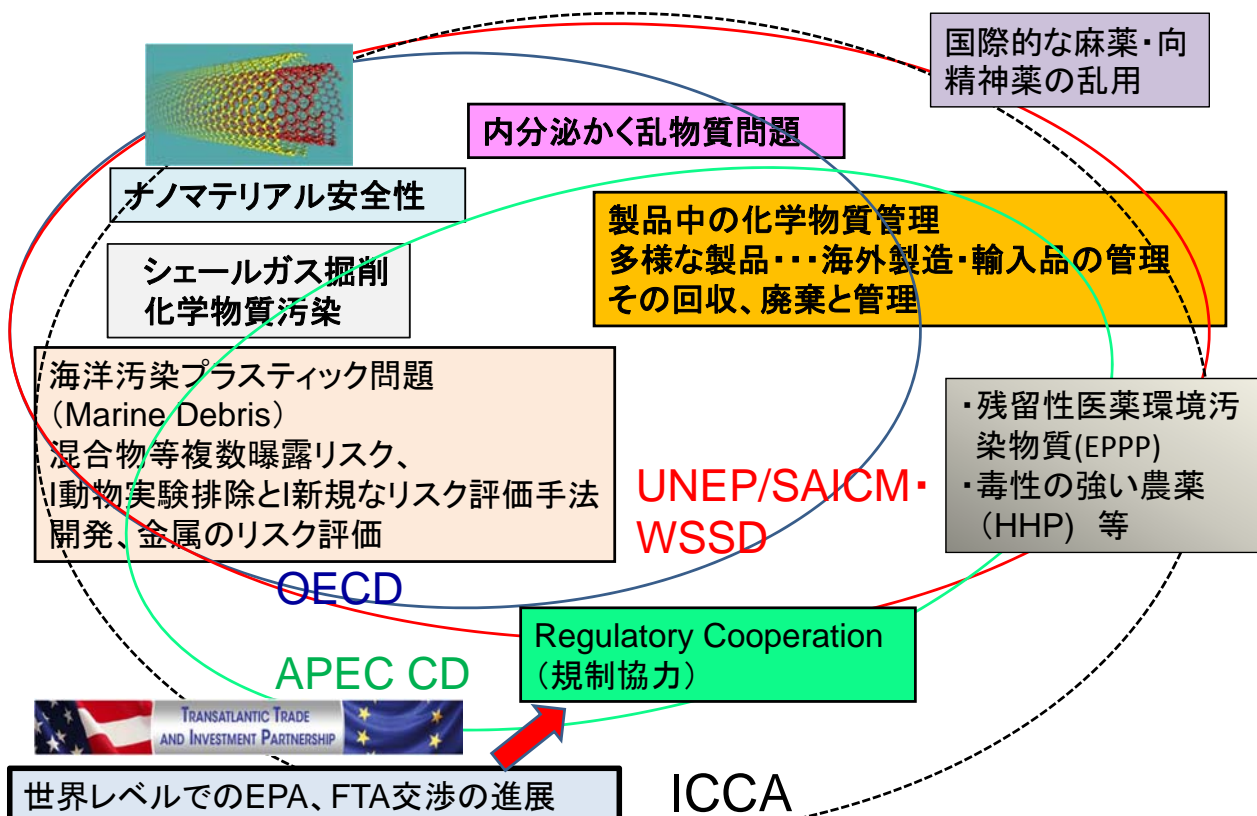
ICCM3 ナイロビでのサイドイベント風景

Copy right ICCA/JCIA 2015/9

化学品管理の世界的潮流



化学品管理に関する最近の諸課題



我々は何を目指すか？ 2020を越えて



- 世界的視野から最も懸念されるリスクの排除と解決
アクションの優先化と国際協力(国境を越えて)
- 合理的かつ有効な対策(科学的な事実解明を加速)
- 問題は、現段階で不明な新たな脅威
過去の事例に学ぶ必要 (PCB、フロン問題等)
科学的な実証によって問題が解決
- リスクの低減に向けて、人材(研究者、専門家)の確保必須
世界的課題……大学教育、社会的・経済的な保障
➡ 持続的発展に向けて
化学品管理は最終的に”ヒト”と”情報”と”テクノロジー(IT)”？

ご静聴ありがとうございました。

